

# 令和5年度石狩地区の研究活動

研修部 千歳市立桜木小学校

校長 玉 腰 武

## 1. はじめに

石狩管内小中学校長会は、札幌市を除く石狩管内市町村の公立小中学校に所属する98名の会員で組織されている。

本年4月に行った総会において、これまでの研究活動の成果と課題を踏まえて、新たに設定した研究主題のもと、向こう3年間の研究活動をスタートさせたところである。

3か年計画の初年度である今年度は、第1協議題を「新たな時代に必要な資質・能力を育成し、生きる力を育む学校経営の確立」と設定し、資質・能力の定着に向けた授業改革とカリキュラム・マネジメントをいかに組織的に進めていくか、研究活動を進めている。



◇春季学校経営研究会◇

## 2. 研究計画

### (1) 研究の方針

- 全国・全道校長会の研究内容との関連を重視する。
- 北海道教育長期総合計画、石狩管内教育推進の重点との関連を図る。
- 石狩管内の学校教育の現状に基づき、その充実・発展を図る。

### (2) 研究主題

#### ①研究主題（令和5年度策定 3か年計画）

「自ら未来を創造し切り拓く 石狩の子どもを育てる 学校教育の推進」  
～自立、協働、創造する子どもの、必要な資質・能力を育成する学校経営の在り方～

#### ②協議題・課題（令和6～7年度は協議題のみ記載）

- 第1協議題 令和5年度「必要な資質・能力を育成し、生きる力を育む学校経営の確立」

##### 課題① 生きる力を育むカリキュラム・マネジメントの在り方

〈視点ア〉知性創造性を育み学力を保障するカリキュラム・マネジメント

〈視点イ〉豊かな人間性と健やかな体を育むカリキュラム・マネジメント

##### 課題② 学び続ける組織と人材を育成する学校経営の在り方

〈視点ア〉次の時代を創造する教頭・ミドルリーダーの育成

〈視点イ〉対話を中心とした授業改革に取り組む教職員の資質・能力向上

- 第2協議題 令和6年度「活力ある学校組織をつくり、時代の要請に応える学校経営の確立」

- 第3協議題 令和7年度「改善を続ける組織をつくり、社会の負託に応える学校経営の確立」

### (3) 研究推進と事業計画

- 市町村研修部長会議の開催（管内研究の確認及び進行管理、各市町村校長会研究内容の交流）
- 道小・道中との連携（研究大会参加体制の確立、諸調査への対応）
- 管内教育関係機関・団体との連携（研究等における指導・助言依頼及び調整）

### 3. 研究活動の概要

#### (1) 春季学校経営研究会

○期日 令和5年4月11日(火)

○場所 江別市(野幌公民館ほか)

○研究計画説明及び質疑応答

○研究協議 3分科会(小学校2、中学校1)

・玉腰校長(千歳桜木小)、田中校長(石狩生振小)、畠山校長(千歳北斗中)が提言

#### (2) 秋季学校経営研究会

○期日 令和5年11月7日(火)

○場所 北広島市(北広島市芸術文化ホール)

○道小・道中・全連小・全日中研究大会の参加報告

○講話 北海道教育庁石狩教育局次長 山内 尚史 様 「学校の組織的対応について」

○研究協議 3分科会(小学校2、中学校1)

・市橋校長(恵庭若草小)、田中校長(新篠津小)、久保田校長(千歳向陽台中)が提言

#### (3) 北海道小学校長会教育研究渡島・北斗大会への参加

○期日 令和5年9月8日(金)9日(土) ○参加者 29名

○第4分科会では、恵庭柏小学校の東校長が提言発表を行った。

#### (4) 全連小研究協議会東京大会への参加

○期日 令和5年10月19日(木)20日(金) ○参加者 6名

#### (5) 北海道中学校長会研究大会小樽大会への参加

○期日 令和5年9月22日(金)23日(土) ○参加者 管内全中学校長

○第4分科会では、江別江陽中の信定校長が提言発表を行った。

#### (6) 全日中研究協議会九州大分大会への参加

○期日 令和5年10月25日(水)～10月27日(金) ○参加者 6名

#### (7) ブロック別校長研修会の開催

○Aブロック校長研修会(千歳、恵庭、北広島)9月12日(火) 北広島市芸術文化ホール

・研究協議提言 岩崎校長(千歳祝梅小)、前田校長(恵庭柏陽中)

○Bブロック校長研修会(江別、石狩、当別、新篠津)9月11日(月) 当別町立とうべつ学園

・研究協議提言 玉田校長(江別文京台小市)、川端校長(石狩花川南中)

#### (8) 研究集録第39集の発行(令和6年2月発行)

○令和5年度(3か年計画/令和5年度～令和7年度研究計画)の研究内容のまとめ

### 4. おわりに

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行もあり、計画していた各種研究活動を全て会同により、予定通り行えた。これからの時代を生きる子どもたちに求められる資質・能力の定着、育成に向けた学校経営の在り方について、管内、全道、全国の仲間との協議・対話を通して、私たちが目的とするところを再確認できたことは大きな意味をもっていると考えている。

また、道小、道中の研究大会で石狩地区としての提言も貴重な機会となった。研究協議では、他地区の会員の皆様から温かい賛辞とともに各学校の示唆に富んだ取組について学ぶことができたことをこの場をお借りして、お礼申し上げる。